

# 「志部府親交会」 発足の経緯

- 志部府親交会が発足するまでの地域活動については、残念ながら確かな記録が残っていないが、昭和52(1977)年頃から志部府地域の青壮年部の人たちが中心となって、町内各スポーツ大会や盆踊り大会等に参加し、地域の親睦を図ると共に相互啓発を目的として活動を行ってきた。
- 親交会が発足するまでの約6年間は、「志部府地域龍王クラブ」という名称で女性部によるバレーボール大会、老年層による高宮ゲートボール大会、また高宮駅伝大会、ソフトボール大会に出場し、地域住民の連帯と活性化を図ってきた。
- 地域住民の機運も高まり、町の働きかけもあって、昭和58(1983)年度に志部府、竹部迫、上野・吉広全地域の住民の賛同を得て、志部府親交会を結成した。

- この志部府親交会の主な目的は、地域住民自らの創意工夫と努力にしたがって地域の連帯化、各々の生活文化の向上をめざすコミュニティづくりであり、親交会独自の統制ある具体的な親交活動を目指す。
- 昭和49(1974)年頃より、それまでの高度成長の景気も安定成長時代に変わり、農村も徐々に過疎化、高齢化の波が押し寄せて来るようになった。このような時代のながれに対応するため、地域住民によって地域の活性化を図り、生活の向上、社会福祉の充実、生活に直結する道路網の整備、ほ場整備事業等が叫ばれるようになった。志部府、竹部迫、上野・吉広の3地域の住民も龍王クラブの基に、営農クラブ活動の取り組みをはじめ、昭和59(1984)年度から龍王地区ほ場整備事業に着手したのである。

